

みやざき子ども未来応援フォーラム 2018 Vol.2のご案内

宮崎県では「弁当の日」の取組を中心に、子どもたちが食に関心をもつことをとおして健康に生きていくことの大切さを学んでいます。さらに「弁当の日」の取組を深く掘り下げていくと、自分と社会とのつながりや生き方について考えることができます。私たちの生活に切っても切り離せない「食」。毎日口にするものだからこそ、何を大切にすべきかを意識しているか否か。食にはその人の生き方が反映されていきます。

子どもの貧困や孤食が問題視される中、宮崎県においても子ども食堂が広がり、人とのふれあいをとおして楽しく食事をしながら心と体が満たされていく子どもたちが増えています。ただ子どもたちには、貧困の連鎖を断ち切り、社会を変革していく力を身につけていくことが求められてきます。誰とどう生きていくのか、何を価値として選ぶのか、どのように社会に参画していくのか。子どもとともに、私たちおとな自身も「食」をとおしてよりよい未来を創造するために、常に視野をひろげていく必要があります。

みやざき子ども未来応援フォーラムが、これからの社会を担っていく子どもたちにとってたくましく健やかに生きていくために必要な価値観は何か、それを支える大人たちはどうあればよいか、私たち自身が日々の暮らしを学び直す機会になれば幸いです。ぜひ、お誘い合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。

日時：2018年6月3日(日) 15:00 - 16:50 (開場 14:30)

場所：宮崎大学創立 330 記念交流会館コンベンションホール

講師：船越康弘氏 (WaRa 倶楽無 代表)

花房範子氏 (重ね煮と一汁一菜会 代表)

演題：「食べ物が変わると、なぜ人生が変わるのか?!」

【講師紹介 (敬称略)】 船越 康弘 (ふなこし やすひろ)

自然食料理人。20歳の時、食養を世界に広めた故桜沢如一氏の思想に出会い、食養料理の大家である故小川法慶氏に執事。自然食の宿「百姓屋敷わら」をスタートさせ、自然食を単に健康志向という側面からだけでなく、幸せと感謝を意識し、食と生き方を結び付けた考え方につなげてとらえている。船越かおりとの共著に『野菜たっぷり重ね煮レシピ』『わらのごはん』『わらの料理』『野菜を信じるレシピ』『未来につなぐわらごはん』がある。「百姓屋敷わら」でのイベントを軸に、全国でセミナーや講演会、料理教室などを行っている。

【講師紹介 (敬称略)】 花房 範子 (はなふさ のりこ)

管理栄養士。三股町で展開されている子ども食堂“りんりん食堂”をはじめ、“True Meals ～台所からつくる明るい未来～”と連携して、宮崎に重ね煮の魅力と食に関心を持つ大切さをひろげている。

主催：宮崎大学大学院教育学研究科・宮崎大学教育学部・宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター

共催：重ね煮と一汁一菜会、True Meals ～台所からつくる明るい未来～、みやざき子ども未来ネットワーク

参加費：無料 (定員200名：事前申し込みにご協力ください。みやざき子ども未来応援フォーラム 2018 Vol.1に参加される場合は、その旨もお知らせください。)

申し込み先：2018年6月1日(木)までにご連絡ください。

〒889-2192 宮崎市学園木花台西 1-1 宮崎大学教育学部附属教育協働開発センター 竹内元 宛

ファックス：0985-58-5287

メールアドレス：gengen@cc.miyazaki-u.ac.jp